

企画展示「法政理工系の軌跡」の内容を詳しく知りたいかたは、こちらの QR コードもご覧ください



HOSEIミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

サテライト小金井
STEAM
Science, Technology, Engineering,
Arts and Mathematics



HOSEI ミュージアム
〒102-0073 千代田区九段北 3-3-5 九段北校舎 1 階
TEL : 03-3264-6501 HOSEI ミュージアム事務室
<https://museum.hosei.ac.jp>
サテライト小金井
〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2 小金井キャンパス西館 1 階

HOSEI ミュージアム・サテライト小金井 (STEAM)

■法政理工系を伝えるサテライト小金井

ネットワーク型のHOSEIミュージアムでは、本学3キャンパスにそれぞれ、ミュージアム・サテライトを設置し、ミュージアム・コアと連動しながら、各キャンパスの個性を伝えます。

ミュージアム・サテライト小金井では、法政大学の理工系教育・研究の歴史と個性を伝える展示活動を行います。

■学生の皆さんに届けたい本サテライト

本サテライトで最も重視している参観者は、ここで学ぶ学生の皆さんです。

ここで学びながら、でもまだ、本学の理工系教育・研究の歴史、発展のプロセスや、自分の学部・学科以外の教育・研究について、十分な情報・理解を得ているとは限らない方々も多いのではないのでしょうか。このサテライトが、そうした知見を広げる場になればと願っています。

そのため本サテライトではあえて「学部・学科別」の構成はとらず、学部横断型のつくりをしています。学生の皆さんに伝えたい内容が、受験生や学外者の方々にとっても魅力あるものとなるようにと考えております。

■サテライト小金井の愛称「STEAM」について

本サテライトには、STEAM(Science, Technology, Engineering, Arts and Mathematics)という愛称が付いています。この語は、本サテライトが対象とする世界を最もよく言い当てているものです。

本サテライトは本学理工系と関わる展示を行う場ですが、「小金井」だけの名称ですと、市ヶ谷キャンパスで展開するデザイン工学部の関わりが表現できません。他方で、理工系キャンパスといっても、小金井キャンパスには理工系学部の教育を構成する、より幅広い学問分野の研究がなされています。その点で、近年北米の大学を中心に広がりつつあるSTEAMという語には、この場の対象世界を積極的に表現できるメリットがあるのではないかと議論が交わされ、愛称として用いることになりました。

■サテライト小金井 構成要素

小金井サテライトは、5つのパートから構成されています。

1 企画展示ゾーン (モニタの左側)

このゾーンでは、法政理工系の教育・研究の歴史や成果を表す展示を、今後随時、開催する予定です。

開設にあたり、現在ここでは「法政理工系の軌跡」と題する展示を行っています。本展示は、今後、他の企画展示が開催されていない期間の常設的展示になる予定です。なお、展示スペースが小さく、説明を尽くすことができないため、「もっと知りたい人はこちらへ」というQRコードを付けて、法政理工系の面白い歴史エピソードに誘導しています。これは今後も増設予定です。スマホなどをかざして読んでみてください。

2 実物展示 (企画展示壁面の前)

企画展示壁面前には、2つの小さな展示ケースが置かれています。開設時現在は、小金井キャンパス竣工時(1964年)、その校舎配置や設計方法が建築学界で評判となり特集された雑誌記事(雑誌『新建築』)と、麻布校舎時代を伝える卒業生の資料を展示しています。今後、随時入れ替える予定です。

実物展示については、必要な際に取り出して使用する「展示用の台座」が用意されており、今後、理工系で生み出した機械類など、実物展示中心の企画で利用ができます。

3 法政理工系の研究キーワード展示 (モニタの右側)

この壁一面で法政理工系の全てがわかる、理工系4学部全専任教員の研究キーワードのパネル展示です。

学部横断的な展示という全体コンセプトから、パネルをどのようにマッピングするか真剣な議論が交わされ、その結果、配置を固定せず、見た人たちが研究分野の関連や構造など、ここで自由に思考し、議論しながら動かせる「ハンズ・オン展示」とすることになりました。ただそれでも、コアになるワードはいくつかあった方が良くはないかとの議論から、理工系の本学教員による熟議を経て、「人間」「環境」「生命」「もの」「情報」「数理」という6つの大項目を設けています。いたずらや持ち去りなどで窮屈な運営をすることにならないよう、ハンズ・オンの目的を共有頂き、ここが自由で知的な思考と語らいの場になるよう、ぜひご協力ください。

4 モニタ展示 (タッチパネルではありません)

本学内で様々な機会に製作されてきた法政理工系の教育・研究を伝える動画を集約して映写するモニタです。タッチパネルではありませんが、ゆっくり流れるサムネイルから、時々、特定の映像にフォーカスして全編映写されるつくりになっています。周囲に音が漏れすぎないように、指向性スピーカーを用いていますので、音が聞こえるところでご覧ください。今後、新たな映像も随時加えていく予定です。

5 柱グラフィック

HOSEIミュージアムのご挨拶や説明、本サテライトの趣旨説明、法政理工系関連年表などのグラフィックを、既存の2本の柱上に、オリジナルの面を活かしてシルクスクリーン印刷したグラフィックです。

この他、サテライトに向かって左側壁面に、初代工学部長の加茂正雄教授、並びに、小金井キャンパス開設決定時の有沢広巳総長の胸像が置かれており、胸像の上には、小金井キャンパス開設時の谷川徹三総長の書が掲げられています。法政理工系の歴史において、小金井キャンパス開設が有した意味は非常に大きく、このエリアも、本サテライトの外延と位置づけて、近日中に、説明パネルを設置する予定です。

小金井キャンパス、理工系学部の教職員・学生の皆さんに、今後長く育てていただける場にしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。ミュージアム・コア(市ヶ谷キャンパス 九段北校舎 1階)にも、どうぞお越しください。

